

患者紹介 Web予約システムの紹介

2022年4月より、地域の医療機関様からのWeb予約システムを導入しました！
目の前に患者さんがいながら簡単に予約日と時間を確定できます。

不整脈チーム

の取り組みをご紹介します

前編 アブレーション治療

(後編では デバイス治療 についてご紹介します)

- メリット 1** 簡易に予約可能
- ① 紹介したい医師を選択
 - ② 空いている時間を選択
 - ③ 患者さんの名前を入力
 - ④ 送信ボタンを押せば完了
- メリット 2** 24時間365日 いつでも予約可能
- 平日の17時以降や土日に診療している場合でも、翌日や週明けまで調整をお待たせせずに予約を確定できます。



循環器内科
部長 三戸森見

Web予約の流れ



画面イメージ

ご利用の際には専用のログインID、登録が必要です。詳しくは地域医療連携センターにお問合せ下さい。

1 医療機関IDを入力、パスワードを入力

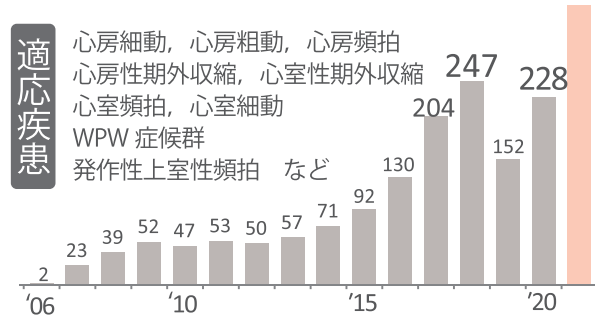
2 診療科目を選択、医師を選択

3 カレンダー、タイムテーブル

4 患者氏名を入力、予約確定

はやいもので近森病院に赴任してから2年が経ちました。おかげさまでアブレーション、デバイス治療の手術件数も増えてきております。アブレーション治療においては、レーザアブレーション等、新しい治療機器の導入も行いました。現状に満足することなく、今後も新しい治療の修得に積極的に取り組み、これまで以上にスタッフ一同、力を合わせて不整脈診療に取り組んで参ります。今後とも何卒よろしくお願い致します。

2021年 近森病院で施行したアブレーションは **339** 例



私たちが不整脈チームです！

専門的治療に対応できるように多職種チームでの診療を行っています

不整脈治療のご紹介は...

	月	火	水	木	金
午前		深谷	三戸 深谷		三戸
午後					

毎週水曜日 デバイス外来も始まりました！
詳細は次号でご紹介いたします。

紹介web予約をはじめました
088-822-5231(代)

ご希望の場合は
地域医療連携センターまでご連絡ください

発作性
心房
細動

発作性心房細動に対しては、従来の高周波を用いたアブレーション治療ではなく、
○クライオバルーン **図1**
○レーザーバルーン **図2** 等を用いた、
短時間で低リスクのアブレーション治療を行っています。

初回治療で約 80%、複数回の治療を行えば約 90%の患者さんで効果が認められており症状の改善、心不全や脳梗塞の抑制、さらには生命予後の改善も期待されます。

図1 Arctic Front Advance™
クライオバルーン
アブレーション
(冷凍凝固アブレーション)

バルーンで肺静脈を塞ぐことで、肺静脈周囲に接触している心房の筋肉を冷凍し、隔離します。治療にかかる時間は約1時間と短時間です。(肺静脈の形態によっては適さないケースもあります。)

▼クライオバルーンを拡張し肺静脈に圧着している様子

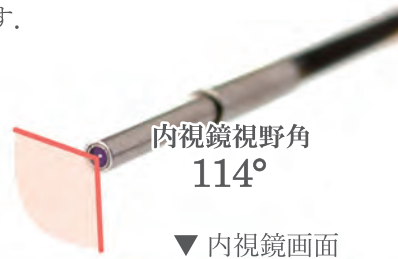


持続性心房細動にも適応が拡大しており、必要と考えられるケースであれば、肺静脈隔離に加えてクライオバルーンアブレーションでの左房後壁隔離も追加しています。

図2 HeartLight™X3
次世代
レーザー
バルーンアブレーション
2022年1月導入
高知県唯一です!

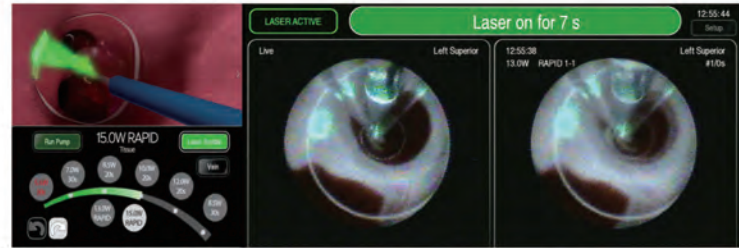
カテテルの中に内視鏡を挿入し、心臓の中を見ながら、レーザーで焼灼するタイプのバルーンアブレーションです。

心筋の深部まで焼灼することができるため、肺静脈の再伝導が少なく、比較的短時間の手術で心房細動の術後再発率が低下することが期待されています。

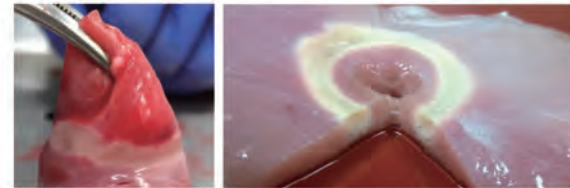


内視鏡視野角
114°

▼内視鏡画面



焼灼層
(豚モデル)
PV Isolation!



▲焼灼層 (七面鳥モデル)

FlexAbility™
高周波 アブレーションカテテル

イリゲーションカテテルを使用することで安全で効率的な焼灼を行うことができます。



止血 デバイス Perclose ProGlide™

カテテルを抜く際に血管壁を縫合する止血デバイスを使用して止血するため、手術後の安静時間が以前よりも短縮できます。大半のケースにおいて術後3時間程度で安静解除が可能です。手術後の負担が大幅に軽減されます。

現在では
心房細動の治療法は
アブレーション治療が第一選択として確立されています

心房細動のメカニズムは現在でも十分に解明されているとはいえませんが、肺静脈付近から異常な電気興奮が頻回に出ることによって心房細動が生じていることがほとんどであり、カテテルを用いて肺静脈からの電気興奮をブロック(肺静脈の電氣的隔離)することにより心房細動を抑制できます。

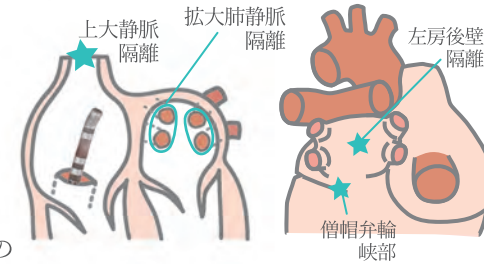
各個人の
不整脈器質に基づいた

テーラーメイド
アブレーション

持続性
心房
細動

持続性心房細動に対する治療成績は未だ十分とはいええず、様々な治療法が考案されており、施設間でも治療方法が異なります。
当院では、様々な治療に対応できるよう、最新の3Dマッピングシステム **図3** を駆使しながら、

- 拡大肺静脈隔離を基本として
- 左房後壁隔離
- 上大静脈隔離
- 低電位領域へのアブレーション
- マーシャル静脈へのエタノールアブレーション
- 僧帽弁輪峡部へのアブレーション等の手技を組み合わせ、テーラーメイドの治療を行っています。



発作性心房細動に比べると、初回治療後の再発率が高く、複数回の治療を要することが多くなりますが、様々な治療を組み合わせることにより、治療効果が期待できます。

図3 3次元 マッピングシステム

Ensight™X
2021年12月
version up



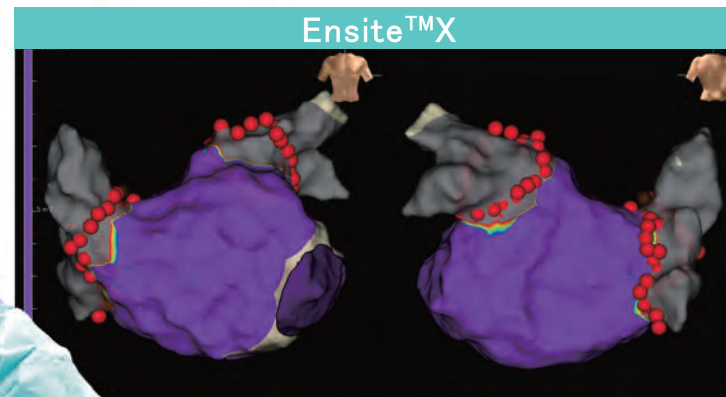
マッピングカテテル HD grid™

効率的な高密度マッピングが可能で迅速かつ正確な診断ができます。

◀磁気を使用することにより正確性が向上しており、より精密な解析と治療が可能です。
当院での心房細動に対するアブレーションは、患者さんの心臓を三次元的にコンピューター上に再現しながら行うため、

手術中に体が動いてしまうと手技が困難となりますので、静脈麻酔を使用して手術を行います。

当院では、Ensight™ X の他にも、CARTO™ 3 も導入しており、より専門的な治療に取り組んでおります。



次回 8月号のホットラインでは
デバイス外来・デバイス治療について
ご紹介いたします!

